

広島大学埋蔵文化財

調査研究紀要

第4号

2013

表紙デザイン

表紙（表）は鏡西谷遺跡C地区出土の同安窯青磁・皿および横田賢次郎・森田勉（1978）掲載の大宰府跡出土龍泉窯系青磁碗を利用して図案化した。表紙（裏）は鏡西谷遺跡E地区出土の絵画土器（弥生土器）を利用して図案化した。

広島大学埋蔵文化財

調 査 研 究 紀 要

第 4 号

2013

広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門

序 文

ここに『調査研究紀要』第4号をお届けする。第4号は、これまでと同様に、研究編、調査編、付編の3部で構成した。研究編では、広島県冠遺跡D地点第2次調査第I文化層出土資料の分析を中心に冠遺跡群の槍形尖頭器石器群の考察を行った。調査編では2009年度の開発に伴う立会・試掘調査を中心とした埋蔵文化財関連業務の概要を収録している。2009年度の開発に伴う試掘・立会調査は広島市霞地区における外来診療棟新設工事などに関連して多くの調査を実施している。その成果として、旧広島陸軍兵器補給廠に関連する建物跡、道路遺構など、まとまった形で遺構群を検出した。霞地区における試掘・立会調査は2006年度から開始し、兵器廠関連の遺構の存在が少しずつ明らかになっていたが、2009年度の調査成果によって多くの関連遺構が本学霞地区および周辺部に良好な形で残存していることが明確となった。付編には調査室が2009年度に実施した教育・普及・研究活動の概要を報告した。普及活動は2008年度から実施している東広島地区山中池南遺跡の保存整備の概要を中心に報告した。研究活動では、東広島市から受託研究を受け、国史跡鏡山城跡に隣接するががら山一帯の中世遺跡の調査を4ヶ年にわたって実施することとなった。その初年度の調査成果の概要を収録した。

さて、開発に伴う埋蔵文化財に係わる業務は、今年度も広島市霞地区を中心に多くの協議と試掘・立会調査開を実施し、多忙をきわめたが、広島市霞地区、翠地区（附属学校）において貴重な成果が得られた。霞地区ではこれまで遺構が確認されていなかった敷地西南部で新たに旧広島陸軍兵器補給廠に関連する遺構が確認され、敷地全域に関連遺構が良好な状態で広く残されていることが明らかとなった。また、翠地区は旧制広島高等学

校跡地であり、登録有形文化財である旧制高等学校の講堂が現在も保存され、利用されている。しかし、そのほかの施設については写真や簡単な配置図が残されているのみで、歴史的な構築物としての具体的内容は伝えられていない。こうした中、調査に伴って旧制高校の寮跡地から関連の遺構が確認され、戦前の遺物が多数出土した。翠地区ではこれまで断片的に1945年以前と推定される遺構や遺物が出土していたが、その内容や性格はほとんど不明の状況であった。今後の調査研究によって具体的な資料が蓄積されるものと期待される。

このように、本年度も開発に伴う協議と調査に多くの時間を費やしたため、懸案の『調査研究紀要』刊行の遅れを取り戻すことができなかった。過去の調査成果を一日でも早く公開できるように努めていきたいと考えている。これまで同様、学芸員養成をはじめとする教育や教育委員会など関係諸機関と連携した普及活動や社会貢献にも力を入れたいと考えている。また、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げる次第である。

2012（平成24）年3月

広島大学総合博物館

埋蔵文化財調査部門長

藤野次史

例 言

1. 本書は、研究編、調査編、付編からなる。研究編は、広島大学キャンパス内遺跡および出土遺物、広島大学への寄贈・寄託遺物の研究をはじめ、これに関連する幅広い遺跡・遺物の研究を目的としている。調査編は、各年度に行った広島大学キャンパス内の開発に伴う協議事項および立会調査、試掘調査、発掘調査の概要報告である。付編は、各年度に埋蔵文化財調査室ならびに調査室構成員が行った普及・研究活動の概要と調査室設置要項などを収録した。
2. 研究編では、1990年に考古学研究室が実施した広島県冠遺跡D地点第I文化層の出土遺物（埋蔵文化財調査室保管）の分析を中心として、冠遺跡群の槍先形尖頭石器器群の様相を検討した。
3. 調査編は、2009年度において、東広島地区（東広島市）、霞地区（広島市）、翠地区（広島市）、三原地区（三原市）の開発に伴って実施した協議事項と立会調査、試掘調査の概要である。
4. 付編は、2009年度の普及・研究活動の概要を収録した。また、2011年5月1日埋蔵文化財調査室は総合博物館と合併した。これに伴い、埋蔵文化財調査室は、総合博物館埋蔵文化財調査部門となり、総合博物館の規則で規定されることとなった。埋蔵文化財の取り扱いについては、統合以前は財務・総務担当理事を座長とする施設マネジメント会議の中で審議されてきたが、埋蔵文化財調査室が博物館と統合したことから、あらたに総合博物館運営委員会のもとに埋蔵文化財調査専門委員会を設置し、広島大学における埋蔵文化財の取り扱いについて審議することとなった。このことから、新たな規定についても収録した。調査室構成員については、本書の作成に関わった2008～2012年度の構成員全てを載せている。
5. 2009度の立会・試掘調査は、広島大学が所在する市町教育委員会と協議・協力を行い、広島大学施設部の協力を得て実施した。調査は、藤野次史が行い、永田千織が補佐した。
6. 研究編、調査編に関わる整理作業は、2009年度が、藤野、永田、岩本三津子、2010年度が、藤野、八幡浩二、永田、岩本、2011年度が、藤野、永田、山手貴生、岩本、2012年度が、藤野、永田、山手、西口祐子が行った。
7. 研究編に関わる遺物の実測や分布図などの作成は、藤野のほか、発掘調査に関わった竹広文明（広島大学大学院生、調査当時）、高島豊、野島洋子、沖 憲明、杉浦真理、高添千代子、高田美由紀、中島信親、大鳥居 仁、本田代志子（以上、広島大学学生、調査当時）、吉井宣子（広島大学統合移転地埋蔵文化財調査室、調査当時）、下瀬洋一（山口県在住、調査当時）が分担して行った。また、本稿の挿図作成にあたって、総合博物館埋蔵文化財部門の永田、山手が協力した。
8. 調査編の図面は主として藤野が作成し、浄書したが、一部、永田が作成、浄書した。研究編、

調査編に関わる写真図版の作成は藤野が行った。

8. 調査編に利用した広島大学各キャンパスの建物配置図等は広島大学財務・総務室施設企画グループから提供された図面を利用して作成した。
9. 本書の執筆は、藤野が行った。
10. 本書の編集は藤野が行った。
11. 研究編で取り上げた冠遺跡D地点第2次調査第I文化層の遺物は、広島大学総合博物館（埋蔵文化財部門）が保管している。

広島大学埋蔵文化財
調査研究紀要第4号

目 次

第1部 研究編

冠遺跡群における槍先形尖頭器の研究

—冠遺跡D地点第2次調査第I文化層出土資料を中心として—

藤野次史…………… 1

1. はじめに…………… 1
2. 冠遺跡D地点の調査と槍先形尖頭器石器群…………… 3
 - 1) 冠遺跡群の概要
 - 2) 冠遺跡D地点の立地と調査区
 - 3) 層序と文化層
3. 冠遺跡D地点第I文化層の石器群…………… 18
 - 1) 出土遺物…………… 18
 - 槍先形尖頭器
 - 小型幾何学形石器
 - 石 錐
 - 削 器
 - 楔形石器
 - 細石核様石器
 - 加工痕ある剥片
 - 使用痕ある剥片
 - 石 核
 - 剥 片
 - 2) 接合資料と剥片剥離技術…………… 56
 - 2-1. 接合資料
 - 2-2. 剥片剥離技術
 - 3) 出土遺物の分布状況…………… 61
 - 3-1. 第I文化層の遺物分布状況

3 - 2. 石器器種の分布状況	
3 - 3. 安山岩の石質分類と分布状況	
3 - 4. 受熟剥片の分布状況	
4. 冠遺跡遺跡群における槍先形尖頭器石器群……………	72
1) 冠遺跡 D 地点の槍先形尖頭器石器群の特徴	
2) 冠遺跡群の槍先形尖頭器石器群と分布状況	
3) 冠遺跡群の槍先形尖頭器の特徴と編年的位置づけ	
5. おわりに……………	80

第2部 調査編

開発に伴う協議と立会・試掘調査の概要（2009年度）……………	85
1. はじめに……………	85
2. 試掘・立会調査の概要……………	89
3. 調査の成果……………	134

付 編

1. 普及・研究活動……………	135
2. 埋蔵文化財調査室の組織……………	151
3. 総合博物館埋蔵文化財調査部門の組織……………	153

挿図目次

- 第 1 図 冠高原における主要遺物採集地点と発掘調査遺跡
- 第 2 図 冠遺跡D地点の調査区配置図
- 第 3 図 冠遺跡D地点第 2 次調査の土層断面図
- 第 4 図 冠遺跡D地点第 2 次調査の調査深度図
- 第 5 図 冠遺跡D地点の第 1 次調査出土の石器群
- 第 6 図 冠遺跡D地点第 2 次調査 B3 - 1 区出土遺物垂直分布図
- 第 7 図 冠遺跡D地点第 2 次調査調査区別出土遺物垂直分布状況図
- 第 8 図 冠遺跡D地点第 2 次調査出土石器 (1)
- 第 9 図 冠遺跡D地点第 2 次調査出土石器 (2)
- 第 10 図 冠遺跡D地点第 2 次調査出土石器 (3)
- 第 11 図 冠遺跡D地点第 2 次調査出土石器 (4)
- 第 12 図 加工痕ある剥片長幅相関図
- 第 13 図 加工痕ある剥片類型別長幅相関図
- 第 14 図 冠遺跡D地点第 2 次調査出土石器 (5)
- 第 15 図 冠遺跡D地点第 2 次調査出土石器 (6)
- 第 16 図 使用痕ある剥片類型別長幅相関図
- 第 17 図 使用痕ある剥片細分類別長幅相関図
- 第 18 図 使用痕ある剥片刃部角度分布図
- 第 19 図 使用痕ある剥片類型別刃部角度分布図
- 第 20 図 冠遺跡D地点第 2 次調査第 I 文化層出土石核 (1)
- 第 21 図 冠遺跡D地点第 2 次調査第 I 文化層出土石核 (2)
- 第 22 図 冠遺跡D地点第 2 次調査第 I 文化層出土石核 (3)
- 第 23 図 冠遺跡D地点第 2 次調査第 I 文化層出土石核 (4)
- 第 24 図 冠遺跡D地点第 2 次調査第 I 文化層出土剥片 (1)
- 第 25 図 冠遺跡D地点第 2 次調査出土第 I 文化層出土剥片 (2)
- 第 26 図 冠遺跡D地点第 2 次調査出土第 I 文化層出土剥片 (3)
- 第 27 図 剥片長幅相関図
- 第 28 図 剥片長幅比と剥離角度相関図

- 第 29 図 剥片長背面構成分類模式図
- 第 30 図 冠遺跡D地点第2次調査第I文化層接合資料分布図
- 第 31 図 冠遺跡D地点第2次調査第I文化層接合資料（接合資料37）
- 第 32 図 冠遺跡D地点第2次調査第I文化層接合資料（接合資料5）
- 第 33 図 冠遺跡D地点第2次調査第I文化層接合資料（接合資料33・36・43）
- 第 34 図 冠遺跡D地点第2次調査第I文化層石材別平面分布図
- 第 35 図 冠遺跡D地点第2次調査第I文化層器種別平面分布図
- 第 36 図 冠遺跡D地点第2次調査第I文化層出土RF（上）・UF（下）平面分布図
- 第 37 図 冠遺跡D地点第2次調査第I文化層出土剥片・石核平面分布図
- 第 38 図 冠遺跡D地点第2次調査出土碎片平面分布図
- 第 39 図 第I文化層出土安山岩石質分類別分布図（1）
- 第 40 図 第I文化層出土安山岩石質分類別分布図（2）
- 第 41 図 冠遺跡高原における第I層の分布と石器の出土状況
- 第 42 図 冠遺跡第10地点（12トレンチおよび拡張区）の槍先形尖頭器石器群（1）
- 第 43 図 冠遺跡第10地点（12トレンチおよび拡張区）の槍先形尖頭器石器群（2）
- 第 44 図 広島大学の校地所在地図（職員宿舎を除く）
- 第 45 図 2009年度東広島地区の立会調査位置図
- 第 46 図 学生宿舎申請工事に伴う配管工事位置図
- 第 47 図 外灯新設工事立会調査位置図
- 第 48 図 山中池南遺跡第2地点保存整備工事平面図
- 第 49 図 2009年度霞地区の立会・試掘調査位置図
- 第 50 図 解剖センター排気設備改修工事位置図
- 第 51 図 共同溝布設工事ほか調査区位置図
- 第 52 図 排水溝布設工事北地区検出遺構の位置図
- 第 53 図 既存施設撤去工事地区の調査区と検出遺構
- 第 54 図 道路遺構・側溝平面実測図
- 第 55 図 南北調査区南部西壁セクション図
- 第 56 図 貯水施設遺構実測図
- 第 57 図 外来診療棟新営工事地区の調査区と検出遺構
- 第 58 図 外来診療棟新営工事地区検出煉瓦建物遺構平面図
- 第 59 図 外来診療棟新営工事地区検出煉瓦建物基礎構造模式図

- 第 60 図 煉瓦イギリス積み模式図
- 第 61 図 道路遺構平面実測図
- 第 62 図 道路遺構断面立面図実測図
- 第 63 図 貯水施設遺構実測図
- 第 64 図 暗渠状遺構・溝実測図
- 第 65 図 暗渠状遺構・溝周辺南北調査区西壁断面図
- 第 66 図 木炭充填土坑実測図
- 第 67 図 レジデントハウス・ゲストハウス新営工事（門柱撤去）位置図
- 第 68 図 駐輪場設置工事位置図
- 第 69 図 2009 年度翠地区の立会調査位置図
- 第 70 図 事務棟新営工事地区平面図
- 第 71 図 中・高校舎改修工事地区の立会調査位置図
- 第 72 図 2009 年度三原地区の立会調査位置図
- 第 73 図 プール南側排水工事平面図
- 第 74 図 山中池南遺跡第 2 地点保存区整備平面図
- 第 75 図 2009 年度受託研究に伴う調査位置図
- 第 76 図 2009 年度受託研究調査区配置図

表目次

- 第 1 表 加工痕ある剥片類型別の加工部角度分布一覧
- 第 2 表 加工痕ある剥片類型別の機能部（刃部）角度一覧
- 第 3 表 使用痕ある剥片細分類型別刃部角度一覧
- 第 4 表 剥片背面構成類型一覧表
- 第 5 表 2009 年（平成 21）度広島大学における開発に伴う埋蔵文化財協議一覧

図版目次

図版 1 冠遺跡 D 地点第 I 文化層出土出土の旧石器時代遺物 (1)

図版 2 冠遺跡 D 地点第 I 文化層出土出土の旧石器時代遺物 (2)

写真目次

写真 1 調査区全景と掘削状況

写真 2 電気配管掘り方掘削状況

写真 3 北グランド西側地区 No.1 調査区完掘状況 (南南西より)

写真 4 北グランド西側地区 No.2 調査区完掘状況 (南西より)

写真 5 北グランド西側地区 No.6 調査区完掘状況 (西より)

写真 6 西グランド西側地区 No.1 調査区完掘状況 (西南より)

写真 7 西グランド西側地区 No.2 調査区完掘状況 (西より)

写真 8 西グランド西側地区 No.3・4 調査区全景 (北より)

写真 9 鴻の巣南遺跡周辺地区 No.1 調査区調査状況 (北より)

写真 10 鴻の巣南遺跡周辺地区 No.2 調査区完掘状況 (南より)

写真 11 山中池南遺跡第 2 地点保存区散策道手摺り設置状況

写真 12 山中池南遺跡第 2 地点保存区須恵器焼成窯跡焚口部復元状況

写真 13 北側ステージ基礎掘り方コンクリート基礎検出状況

写真 14 南東部ステージ基礎掘り方建物基礎検出状況

写真 15 南北共同溝布設工事掘削状況

写真 16 共同溝布設地区南北調査区南端部堆積状況 (3次掘削)

写真 17 共同溝布設地区東西調査区出土コンクリート基礎

写真 18 排水溝布設布設工事北地区建物基礎検出状況

写真 19 排水溝布設布設工事北地区南北建物基礎南端部検出状況

写真 20 既存施設撤去工事地区東西道路遺構・側溝・排水施設全景

写真 21 既存施設撤去工事地区道路遺構断面

写真 22 既存施設撤去工事地区側溝

写真 23 既存施設撤去工事地区排水柵

- 写真 24 側溝完掘状況
- 写真 25 既存施設撤去工事地区貯水施設
- 写真 26 既存施設撤去工事地区南北道路遺構
- 写真 27 外壁撤去工事地区舗装面検出状況
- 写真 28 既設共同溝接続工事地区掘削状況（混貝土層露出状況）
- 写真 29 植栽移設工事地区掘削状況
- 写真 30 外来新営工事地区検出煉瓦建物基礎検出状況
- 写真 31 煉瓦建物基礎北東隅および西辺部
- 写真 32 煉瓦建物基礎煉瓦構築状況（上：北辺部外側、下：西辺部内側）
- 写真 33 煉瓦建物基礎西辺部柱周辺の基礎上面状況
- 写真 34 煉瓦建物基礎断面
- 写真 35 煉瓦建物コンクリート基礎下底面
- 写真 36 煉瓦建物基礎支柱抜き取り状況
- 写真 37 煉瓦建物基礎杭抜き取り集積状況
- 写真 38 外来診療棟新営工事地区検出道路遺構
- 写真 39 道路遺構および横断面
- 写真 40 外来診療棟新営工事地区検出建物進入路遺構（上：東側面、下：北正面）
- 写真 41 外来診療棟新営工事地区検出道路側溝
- 写真 42 外来診療棟新営工事地区検出貯水施設遺構
- 写真 43 外来診療棟新営工事地区検出暗渠状遺構・溝
- 写真 44 外来診療棟新営工事地区検出暗渠状遺構・溝調査終了状況
- 写真 45 暗渠状遺構断面
- 写真 46 外来診療棟新営工事地区検出大型土坑
- 写真 47 外来診療棟新営工事地区検出大型土坑調査終了状況
- 写真 48 外来診療棟新営工事地区検北側東西調査区全景
- 写真 49 外来診療棟新営工事地区北側東西調査区北壁断面土坑検出状況
- 写真 50 共同溝敷設地区（左端）外来診療棟新営工地区（暗渠状遺構）出土遺物
- 写真 51 外来診療棟新営工地区（木炭充填土坑）出土遺物
- 写真 52 レジデントハウス・ゲストハウス新営工事地区門柱全景
- 写真 53 門柱基礎露出状況
- 写真 54 門柱底部基礎栗石接合状況

- 写真 55 医学部基礎第 2 研究棟北側駐輪場地区の調査完了状況
- 写真 56 事務棟新営工事南側給排水管掘り方掘削状況
- 写真 57 事務棟新営工事建物基礎掘り方掘削状況
- 写真 58 中・高校舎改修工事エレベーター新設工事地区堆積層
- 写真 59 中・高校舎改修工事玄関スロープ新設工事地区掘削状況
- 写真 60 中・高校舎改修工事玄関スロープ新設工事地区堆積層
- 写真 61 中・高校舎改修工事体育館連絡通路改修工事地区堆積層（体育館側）
- 写真 62 プール南側排水管新設工事全景
- 写真 63 プール南側排水管新設工事 No.3・No.4 樹間掘り方（北部）堆積状況
- 写真 64 プール南側排水管新設工事 No.4・No.2 樹間掘り方（中部～南部）堆積状況
- 写真 65 須恵器焼成窯跡焚口部基礎とその周辺への盛土
- 写真 66 窯跡焚口部天井骨組み成形
- 写真 67 窯跡焚口部天井成形
- 写真 68 窯跡焚口部周囲基礎成形
- 写真 69 窯跡焚口部周囲基礎の整形
- 写真 70 窯跡焚口部基礎の完成状況
- 写真 71 窯跡焚口部周辺の表面の整形
- 写真 72 窯跡煙道の成形・整形
- 写真 73 盛土による窯跡前庭部形成
- 写真 74 窯跡前庭部排水施設の設置
- 写真 75 芝張り作業
- 写真 76 窯跡前庭部復元作業（炭入れ）
- 写真 77 須恵器焼成窯跡復元完成状況
- 写真 78 1 号住居跡と須恵器焼成窯跡（写真右奥）の復元状況
- 写真 79 3 区（SP01・02 帯状平坦面、SD02・04 溝）完掘状況
- 写真 80 3 区北西部拡張区完掘状況
- 写真 81 7 区（SP03 帯状平坦面、SD03・05・06 溝完掘状況
- 写真 82 9 区（SP04・05 帯状平坦面、SD08・09 溝）完掘状況
- 写真 83 9 区 SP04 帯状平坦面、SD08 溝、および P1 柱穴（画面上部は下段溝・平坦面）
- 写真 84 11 区 SD16 堀切完掘状況